

2023年3月27日



# プレスリリース



## 「サステナビリティ基本方針」の策定および「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同表明について

福島銀行（取締役社長 かとう たかひろ 加藤 容啓）は、「サステナビリティ基本方針」を策定し、併せて「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」（※）提言への賛同を表明いたしましたのでお知らせします。

当行では、2021年12月に「ふくぎんSDGs宣言」を制定し、地域経済・地域社会の持続的な発展に貢献しています。今回、持続可能な社会の実現と当行の企業価値向上の両立を図るため、サステナビリティの新たな方針として、「サステナビリティ基本方針」を策定します。

併せて、気候変動が企業の財務内容に与える影響について適切な情報開示を求める「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」（※）提言への賛同を表明いたします。今後、気候変動がもたらすリスク・機会に関する情報開示の充実を図るとともに本方針に基づき、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」とは、主要国の中央銀行や金融監督当局等が参加する金融安定理事会により2015年設立された組織。2017年に公表した最終報告のなかで、企業等に対して気候変動がもたらすリスクと機会の財務的影響を把握し、開示することを提言しています。

### ○ サステナビリティ基本方針

福島銀行グループは、「経営理念」に基づく企業活動を通して、社会の課題、経済の課題、自然環境の課題などについて積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、地域の発展と当行グループの中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

○ TCFD 提言への賛同

近年、異常気象や自然災害による被害が頻発化・甚大化しており、気候変動がお客様さまや当行の経営基盤に与える影響は徐々に大きくなっています。こうした状況を踏まえて、気候変動問題に係るリスク・機会を適切に評価し、脱炭素社会の実現に貢献すべく、TCFD 提言に賛同いたしました。

○ 策定・賛同表明日

2023年3月27日（月）

以上

本件に関するお問合せ先  
総合企画部 経営企画課 広報室 金成  
TEL 024-525-2973